



2024.1
No.162

松川町議会です

町民投稿

やきいもは みんなえがおの 秋の味 (中央小4年 にっ った はる 新田 晴琉)

令和5年12月定例会

特別職、議員報酬引き上げ否決

議会と語る会 (もっと耳を傾ける)

特集

取り組み進む男女共同参画事業

一般質問 町の考えを問う

3~5ページ

12~13ページ

14ページ

16~23ページ

100年後もこの豊かな農地を守るために
松川町果樹農業研修生 (地域おこし協力隊) の正木幹朗さん

第4回臨時会(令和5年11月2日)開催

・旧青年の家長寿命化改修工事変更請負契約

契約金額 1億4,015万1000円・(変更前1億3,684万円)

…………… 契約の相手方 株式会社林材木店

・清流苑大規模改修工事(第1期)請負契約

契約金額 2億383万円

…………… 契約の相手方 神稲建設株式会社

11月2日第4回臨時会が開催され、旧青年の家長寿命化改修工事変更請負契約、清流苑高付加価値化改修工事請負契約、また地域おこし協力隊・集落支援員活動費の一般会計補正予算(第7回)が可決された。旧青年の家については内装補修や給排水設備工事費増によるものである。

令和5年度一般会計補正予算(第7回)

歳入

(単位：千円) 歳出

(単位：千円)

| | 補正前の額 | 補正額 | 補正後の額 |
|-------|-----------|-------|-----------|
| 地方交付税 | 2,617,745 | 1,500 | 2,619,245 |
| 歳入合計 | 7,236,878 | 1,500 | 7,238,378 |

| | 補正前の額 | 補正額 | 補正後の額 |
|------|-----------|-------|-----------|
| 総務費 | 906,722 | 2,000 | 908,722 |
| 予備費 | 148,486 | △500 | 147,986 |
| 歳出合計 | 7,236,878 | 1,500 | 7,238,378 |



改修工事完了の青年の家



大規模改修が始まった清流苑

議案の質疑

質問

上新井地域の集落支援員の配置について、過去に生東地区は、協力隊を入れたが地域に馴染まず成果が得られなかったことがある。現在の支援員は地元根付いた人選により効果がある。上新井においてもそのような

質問

な考えのもとに人選が必要と思うが考えは。(米山郁議員)

答弁

生東区では自治会などの問題において一定の成果はあった。商店街と自治会が混在する特殊な地域を踏まえ人選に配慮する。

賛成

大規模改修により町一番の交流人口増の場所として一層の発展を期待できる大事な事業である。(間瀬議員)

討論

特別職の給与及び議員報酬改定に待った!!

なぜ？報酬引上げは否決されたのか

議会との議論が尽くされていない

(単位：円)

特別職報の給与の 現状と改定案



| (報酬額) | H26~R 5 | 改定額(案) |
|-------|---------|---------|
| 町長 | 684,000 | 787,000 |
| 副町長 | 577,000 | 635,000 |
| 教育長 | 508,000 | 559,000 |

質問 特別では、返納という形はないか。
(塩沢議員)

答弁 町長のみ特別というかたちとした。
(米山郁議員)

質問 特別は急な提案であるが。
(米山郁議員)

答弁 時間は無かったものの、報酬審議会の答申を受けている。
(米山郁議員)

質問 報酬委員会での特別への説明はあったのか。
(川瀬議員)

答弁 7人の会員のうち3人が欠席したが、書面にて賛同するのと返答があった。
(川瀬議員)

質疑



POINT! 特例を設け、町長の報酬を据え置きにすることを提案してきた!



POINT! 報酬は町が独自で決めるものであり期末手当は人事院勧告に従っている! 100分の160→170

討論

賛成

● 次期町長に向けての保証と受け取る。今後、戻す形でも構わないのでは。
(加賀田議員)

反対

● 議会への説明不足。町長の報酬は特別ではなく返納という形をとるべき。
(大蔵議員)

● 一議案に町独自のものと、人事院勧告が同時に提出されているのは問題だ。協議を深めるべき。
(坂本議員)

● 議会も含め、町民への説明も足りていない。
(米山義議員)

● 町民が苦境にあるなか、先導すべきものが報酬を上げるべきではない。
(松井議員)

● 報酬委員会の答申を受けてからの議論がない。仕切り直して議論をするべき。
(間瀬議員)

(単位：円)

議員報酬額の 現状と改定案



| (報酬額) | H16~R 5 | 改定額(案) |
|-------|---------|---------|
| 議長 | 269,800 | 297,000 |
| 副議長 | 209,000 | 238,000 |
| 常任委員長 | 195,700 | 238,000 |
| 議員 | 190,000 | 228,000 |



POINT! 副議長と常任委員長の上昇率が異なり、同額になっている!



POINT! 特別職同様、報酬は町が独自で決めるものであり期末手当は人事院勧告に従っている! 100分の160→170

質疑

質問 副議長と常任委員長が同額であるが、行政側の判断で職務を判断するべきではない理由は。(米山郁議員)

答弁 委員長の職務を尊重した。3か月前から提示している。

討論

賛成

● 報酬引上げには「語る会」で町民の理解を得てきた。(加賀田議員)

反対

● 特別職引上げで反対した。痛み分けとする。
(米山郁議員)

● 引上げの時期に関する議論がない。4月なら3月定例会でも間に合う。
(坂本議員)

● 来年度の議員選挙に合わせた引上げでも構わないのではないか。
(米山義議員)

異例

一般会計補正予算は第8・9・10回と3回上程!!

可決

初日に一般会計補正予算(第8回)を即決し、一般会計補正予算(第9回)、特別会計、事業会計補正の総括質疑を行い、それぞれ各常任委員会に付託。最終日では生活支援給付金を盛り込んだ補正予算(第10回)を加え、今定例会では3回の補正が上程された。異例ではあるが、交付金の早期対応によるもので賛成多数で可決された。

| 定例会の補正予算額 (単位：千円) | | | | 主な歳入 (単位：千円) | |
|-------------------|----------|-----------|-----------|--------------|---------|
| 第8回 | 一般会計補正予算 | 補正前の額 | 計(補正後) | 科目 | 補正額 |
| | 93,930 | 7,238,378 | 7,332,308 | 分担金及び負担金 | 2,939 |
| 第9回 | 一般会計補正予算 | 補正前の額 | 計(補正後) | 国庫支出金 | 152,324 |
| | 635,156 | 7,332,308 | 7,967,464 | 県支出金 | 2,980 |
| 第10回 | 一般会計補正予算 | 補正前の額 | 計(補正後) | 繰入金 | 390,940 |
| | 42,500 | 7,967,464 | 8,009,964 | 町債 | 156,400 |
| | | | | 寄付金 | 500 |
| | | | | 諸収入 | 65,503 |

| 主な歳出 (単位：千円) | | |
|--------------|-----------------|---------|
| 回 | 事業名 | 補正額 |
| 第8回 | 生活支援臨時給付金 | 93,930 |
| 第9回 | 障がい者自立支援給付金 | 11,000 |
| | 総合グラウンド・テニスコート | 53,600 |
| | 照明LED化改修工事 | |
| | 図書館・資料館屋根外壁改修工事 | 115,500 |
| | 若者定住住宅祝金 | 5,700 |
| | リニア対策事業 | 65,430 |
| 第10回 | 最適農地利用総合対策事業 | 5,219 |
| | 「あったか応援券」給付事業 | 42,000 |
| | およりての森周辺整備 | 500 |



屋根、壁の改修が決まった松川町図書館



全町民に配布された「あったか応援券」

ここが聞きたい!!

中学校部活動の地域移行を進めていく

質問 地域移行コーディネーター委託の人は。またその業務内容は。(星野議員)

答弁 6月補正で12人を見込んだが現在22人に増えている。



「やまほいく」は魅力的

答弁 近隣町村との連携や調整、準備会・検討委員会の開催、推進計画の策定など、制度設計を検討し、課題に対応するために委託学校との連携が不可欠なため、教育関係者にお願いする予定。

生活に必要な交付金

質問 今回二つの給付金についての説明を今後の給付の予定は。(米山郁議員)

保育委託料増の理由は

質問 町外の保育園にお子様を預ける方が増えているのか。(加賀田議員)

答弁 重点支援交付金として低所得世帯へ

一世帯7万円の給付。地方創生臨時交付金として町民全員に「あったか応援券」一人当たり3千円分の給付。

今後住民税の所得割非課税世帯に対して10万円の給付と、その子育て世帯に5万円の上乗せ給付、所得割と均等割が非課税の世帯に2万円とその子育て世帯に5万円の上乗せ給付が計画されている。

質問 振込や郵送などの事務的な手数料が多い。簡略化はできないか。(加賀田議員)

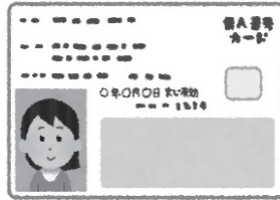
答弁 新たなシステムの導入や今までのやり方を改めるには心配の方が大きい。

元気センター繰り上げ償還
質問 繰り上げ償還7,700万円なぜ今か。(松井議員)

答弁 当該事業が中止をしたことにより、既に繰上償還の日が来ているため。

マイナンバーカードを健康保険証として利用

質問 情報漏洩のリスクに対する整備はおこなわれているか。(川瀬議員)



リスク管理は注視すべき

答弁 操作マニュアルなどセキュリティに関する規定は既にある。新たに記載が必要にな

るものに関しては、必要に応じて厳格に事務手続きを進めていく。

第5次総合計画(改定版)の施行期間を1年延期

質問 1年延期するメリットとデメリットは何か。(米山義議員)

答弁 行政評価委員会で、総合計画の進捗についてまとめている。一年間延ばすことで、事業評価がしっかり出来、次期計画への反映も大きい。



町のすべての計画の最上位「総合計画」

陳情 4

松川町再生可能エネルギー発電設備の設置等に関するガイドラインの改定を求める陳情



理由 現ガイドラインでは、地域住民の意に関係なく設置できてしまい、住民の安心安全が確保されていない。設置場所に関して、子どもたちの安全に関わる場所への記述がないなど。 ➡全員一致で採択

発議 1

県施設の整理統合が続く中で地域の振興に資する設備整備等を求める意見書の提出



理由 リニアの開業を見据え、県土の均衡ある発展を実現し、若者がこの地域の未来に明るい希望を持てる文化・スポーツ施設の整備を検討願いたい。

➡全員一致で可決

地方自治法第99条の規定により意見書を提出。

広域連合条例

南信広域連合が処理する事務の変更及び南信州広域連合規約の変更について

飯田創造館の閉館に伴い南信州広域連合が管理するにあたり条例の一部を改正するもの
➡全員一致で可決

人事

松川町固定資産評価審査委員会委員の選出
(任期3年)

小木曾 雅彦氏
(松川町大島)

➡全員一致で同意

だより

社会文教 常任委員会

社会文教常任委員会を行い、それぞれ付託された調査も実施しました。

を分担し、能率的に処理するために設置された機関です。

社会文教常任委員会は、住民税務課・保健福祉課・教育委員会(こども課・生涯学習課)・会計室の分野を担当しています。

質問・意見

答弁

一般会計補正予算(第9回)

- ①環境審議会委員3人分の報酬が増額となっているが委員構成と審議内容は。
- ②小中学校のタブレット修繕費は毎年計上されてくる。使い方や、本体に問題があるのか、データ蓄積と分析も必要ではないか。
- ③部活動地域移行に向けた準備費用として、検討委員会費やコーディネーター費が計上されているが、令和7年に移行するにあたり、ロードマップはあるのか。

健康保険特別会計補正予算(第2回)

- ①保険給付費7,100万円の増額を、この時期にする背景と増額になる前にすべき対策はないのか。

介護保険特別会計補正予算(第3回)

- ①ケアマネが集まらず報酬費が減額補正だが、仕事にしわ寄せがないか、今後の増員予定は。

- ①2年毎の改選で委員数は14人で公募による増額である。審議内容は地球温暖化対策実行計画策定に向けご意見を頂く。
- ②落としたりぶついたりして修繕が必要となっている。修繕状況について把握している。今後は分析もしていきたい。
- ③地域の方、スポーツ・文化芸術関係者、保護者の方々によって協議会を立ち上げ、松川町のスポーツ・文化芸術活動のあり方を一緒に考えて、計画を立てていく。

- ①社会保険から国民健康保険に移られた透析の方が複数いる。コロナウイルス感染症が5類になり、外来と入院の医療費が自己負担となったことも影響している。保健指導の早期介入を今後強化していく。

- ①現職員に負担増となっている。来年度の重層的支援体制が確立するなかで、1人ないし2人の増員を要求していく。

審査を付託された議案 令和5年度

- ①一般会計補正予算(第9回)
- ②国民健康保険事業特別会計補正予算(第2回)
- ③後期高齢者医療特別会計補正予算(第2回)
- ④介護保険事業特別会計補正予算(第3回)

陳情4 松川町再生可能エネルギー発電設備の設置等に関するガイドラインの改定を求める陳情

令和5年度各補正予算は、質疑・討論を行い、全員賛成であり、当委員会としては原案の通り認めることが妥当すべきと決しました。

陳情4は賛成4 その他1で採択。

現地調査

12月6日午後、伊那谷発の環壕集落趾を検出した政所田遺跡と改修予定の旧老人福祉センターを現地調査しました。



政所田遺跡の環壕集落趾



改修予定の旧老人福祉センター

総務産業建設 常任委員会

総務産業建設常任委員会は、総務課・まちづくり政策課・産業観光課・リニア対策課・建設水道課・議会事務局の分野を担当しています。

委員会

12月4日(月)に総務産業建設常任委員会、6日(水)議案について審議しました。委員会判断にて現地
※常任委員会制度とは、多数の議案をそれぞれ担当部門別に調査

質問・意見

答弁

一般会計補正予算(第9回)

- ①若者定住住宅取得祝金増として570万円が計上されている。当初予算の活用状況と今回の増額の内訳は。
- ②ツキノワグマ放獣費増は何頭分か。目撃情報が多く報告されているが出没に変化が見られるか。

下水道会計補正予算(第4回)

- ①資金ショートを起こし、一般会計より3億円を一時借入金として繰入している。企業会計については定期的に財務諸表を公開すべきでは。

信州まつかわ温泉清流苑事業会計補正予算(第4回)

- ①職員の異動に伴う人件費が計上されている。増員の目的は。
- ②人件費は一般会計からの繰入ではなく企業会計でみるべきでは。
- ③地域おこし協力隊制度を活用しては。

- ①当初予算で計上したのは、子育て世帯が3件、子育て世帯を含む町外からのUターン者が12件。今回の計上はUターン者の申請分として10件を想定している。
- ②当初予算では3頭分を想定。10月末で子熊ふくめ錯誤捕獲された、9頭分計上した。目撃場所の統計化はされていないが、宅地付近、電気柵の脇など里山への出没が増えている。
- ①毎月の定期監査の折に監査委員に合計残高試算表を提示している。残高試算表であれば対応は可能。
- ①コロナ禍もあり令和3年以降2人体制で対応してきた。今年4月以降、職員の残業時間が月60時間程度発生しており3人体制に戻した。
- ②役場からの正規職員の人件費は、従来通り一般会計からの繰入を考えている。
- ③地域おこし協力隊については関係者を交えて検討していきたい。

審査を付託された議案 令和5年度

- ①一般会計補正予算(第9回)
- ②水道事業会計補正予算(第4回)
- ③下水道事業会計補正予算(第4回)
- ④信州まつかわ温泉清流苑事業会計補正予算(第4回)

付託された一般会計補正予算、水道事業特別会計補正予算、下水道事業特別会計補正予算、信州まつかわ温泉清流苑事業会計補正予算については全員賛成であり、付託を受けた議案は委員会として原案通り認めることが妥当と決した。



現地調査

管渠敷設を鋼矢板土留め工法からオープンシールド工法に変更した、野岩川第一排水区雨水幹線改築工事現場の視察と、新井中心市街地の活性化事業に取り組む「(一社)まつかわ・すたいる」を表敬訪問した。

議 決 結 果

令和5年 第4回臨時会議決結果

●全員一致で議決されたもの

| 件名 | 結果 | 内 容 |
|---|----|-------------------------------------|
| 契約 令和4年度旧長野県松川青年の家長寿命化改修工事変更請負契約の締結について | 可決 | 契約金：1億4,015万1千円 契約の相手方：株式会社 林材木店 |
| 補正 令和5年度松川町一般会計補正予算(第7回)について | 可決 | 歳入歳出それぞれ150万円を追加し、72億3,837万8千円 |

●多数意見により議決されたもの

賛成○ 反対●

| 件名 | 議員名 | | | | | | | | | | | 結果 | 内 容 |
|--|------|------|------|------|-------|-----|------|------|------|------|------|----|--------------------------------|
| | 星野光洋 | 塩沢貴浩 | 加賀田亮 | 米山郁子 | 川瀬八十治 | 大蔵洋 | 坂本勇治 | 森谷岩夫 | 米山俊孝 | 間瀬重男 | 松井悦子 | | |
| 契約 令和5年度地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業信州まつかわ温泉清流苑大規模改修工事(第1期)請負契約の締結について | ○ | ○ | ○ | 欠 | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 | 契約金：2億383万円 契約の相手方：神福建設株式会社 |

令和5年 第4回定例会議決結果

●全員一致で議決されたもの

| 件名 | 結果 | 内 容 |
|--|----|---|
| 条例 松川町移住促進住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 可決 | 松川町移住促進住宅の設置及び管理に関する条例の表の一部を改正するもの |
| 松川町行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 可決 | 健康保険等の保険者証の原則廃止に伴うマイナンバー法を改正するもの |
| 松川町一般職の職員等の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 可決 | 人事院による給与勧告に伴う一般職の職員給与を改正するもの |
| 松川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について | 可決 | 健康保険法等の一部改正に伴う、松川町国民健康保険税条例を改正するもの |
| 松川町手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について | 可決 | 国の省令改正に伴う、戸籍法の一部を改正するもの |
| 令和5年度松川町一般会計補正予算(第8回)について | 可決 | 歳入歳出それぞれ9,393万円追加し、73億3,230万8千円とする |
| 令和5年度松川町一般会計補正予算(第9回)について | 可決 | 歳入歳出それぞれ6億3,515万6千円追加し、79億6,746万4千円とする |
| 令和5年度松川町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2回)について | 可決 | 歳入歳出それぞれ7,105万円追加し、12億3,528万6千円とする |
| 令和5年度松川町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2回)について | 可決 | 歳入歳出それぞれ207万円減額し、1億8,670万3千円とする |
| 令和5年度松川町介護保険事業特別会計補正予算(第3回)について | 可決 | 歳入歳出それぞれ9,586万8千円追加し、15億2万9千円とする |
| 令和5年度松川町水道事業会計補正予算(第4回)について | 可決 | 収益的支出 3億932万2千円 資本的収入 1億2,135万円 資本的支出 2億1,380万9千円 |
| 令和5年度松川町下水道事業会計補正予算(第4回)について | 可決 | 収益的支出 5億6,347万円 資本的収入 3億8,947万円 資本的支出 6億3,246万4千円 |
| 令和5年度松川町信州まつかわ温泉清流苑事業会計補正予算(第4回)について | 可決 | 収益的収入 4億1,414万5千円 収益的支出 4億2,355万8千円 |
| 令和5年度松川町一般会計補正予算(第10回)について | 可決 | 歳入歳出それぞれ4,250万円追加し、80億996万4千円とする |
| 締結 第5次松川町総合計画[改訂版]の計画期間の変更について | 可決 | 次期総合計画の計画期間の開始時期を令和7年度とすることに伴う変更 |
| 辺地に係る総合整備計画の変更について | 可決 | 事業費4,550万円から、5,550万円へ増額 |
| 南信州広域連合が処理する事務の変更および南信州広域連合規約の変更について | 可決 | 南信州広域連合規約の一部を変更するもの。 |
| 選任 松川町固定資産評価審査委員会の委員の選任について | 同意 | 松川町在住：小木曾 雅彦氏 |
| 陳情 松川町再生可能エネルギー発電整備の設置等に関するガイドラインの改定を求める陳情 | 採択 | 陳情者 松川町在住：小川 隼人氏 |
| 発議 県施設の整理統合が続くなかで、地域の振興に資する施設整備等を求める意見書の提出について | 可決 | リニア開業を見据え、県土の均衡ある発展を実現し、若者がこの地域の未来に明るい希望を有する文化・スポーツ施設の整備を願うもの |

●多数意見により議決されたもの

賛成○ 反対●

| 件名 | 議員名 | | | | | | | | | | | 結果 | 内 容 |
|---|------|------|------|------|-------|-----|------|------|------|------|------|----------------------------|-----|
| | 星野光洋 | 塩沢貴浩 | 加賀田亮 | 米山郁子 | 川瀬八十治 | 大蔵洋 | 坂本勇治 | 森谷岩夫 | 米山俊孝 | 間瀬重男 | 松井悦子 | | |
| 条例 特別職の職員等の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について | ○ | ○ | ● | ○ | ● | ● | ● | 欠 | ● | ● | 否決 | 特別職の職員等の給与の増額に伴う改定 | |
| 議会の議員の議員報酬および費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について | ○ | ● | ○ | ● | ● | ● | ● | 欠 | ● | ● | 否決 | 議会の議員の議員報酬および費用弁償等の増額に伴う改定 | |

10月～12月 主な議会日程

| | | | |
|----------|--------------------------------|-------------|-----------------------|
| 10月2日(月) | 広報部会 | 14日(火) | 北部ブロック議会議員総会 |
| 5日(木) | 広報部会、社会文教委員会 | 15～16日(水、木) | 国会議員表敬訪問 |
| 12日(木) | 中部伊那町村議会協議会議員集会 | 21日(火) | 議会全員協議会 |
| 19日(木) | 議会と語る会(女団連) | 28日(火) | 議会運営委員会、産業懇談会 |
| 20日(金) | 議会運営委員会、中学生と未来を語る会、議会と語る会(古町区) | 29日(水) | 社会文教委員会 |
| 23日(月) | 議会と語る会(大島区) | 30日(木) | 地域活性化講演会 |
| 27日(金) | 議会と語る会(上新井区) | 12月1日(金) | 議会運営委員会、第4回定例会開会・総括質疑 |
| 28日(土) | 議会と語る会(上片桐区) | 4日(月) | 総務産業建設常任委員会 |
| 30日(月) | 議会全員協議会、議員協議会 | 6日(水) | 社会文教常任委員会 |
| 31日(火) | 飯伊市町村議会議員研修会 | 7日(木) | 議会改革推進会議 |
| 11月2日(木) | 第4回臨時会 | 13日(水) | 第4回定例会一般質問、議員協議会 |
| 6日(月) | 広聴部会 | 20日(水) | 議会全員協議会、第4回定例会最終日 |
| 8日(水) | 議会タレット研修会 | 25日(月) | 広報部会、議会運営委員会 |
| | | 27日(水) | 社会文教委員会 |

議会のぶっぴき

読んでもらえる議会だよりを目指して

東京都千代田区日経ホール 9月26日

全国町村議会広報研 修会に議会だより編集委員6人が参加。

広報担当者が知っておくべき法律知識について弁護士玉置氏、広報誌づくりの基礎についてはメディアプランナーの白木氏、デザイン講座をグラフィックデザイナーの平本氏からそれぞれ講演をいただいた。



全国から集合編集委員

特に法律知識については著作権、肖像権、知的財産権など、編集者として留意すべき事項を学んだ。特に写真編集委員自ら撮影したものを掲載するなど

気をつけているが、写真に写るバックの風景や看板などにも注意が必要であるとのこと。写真が難しさを感じた。



期待されるクラブハウス

松川町議会と高森町議会の交流会が今年で高森町議会が当番でおこなわれた。高森町の町内視察に続いて両議会の意見交換会が行われた。

高森町町議会議員と交流研修会

高森町福祉センター 9月28日

み楽しんでいただけるとのこと。また、リニア新幹線の線路に使用されるリニアガイドウェイ製作保管現場を見学した。後半の意見交換会では議員のなり手不足について議員報酬、議員定数、議会活動について活発な意見交換が行われ盛況のうちに閉会した。



サッカー場予定地

中部伊那4町村議会連携再確認

中川村中川文化センター 10月12日

松川町、大鹿村、飯島町、中川村の中部伊那4町村の理事者、議員による研修会がおこなわれた。令和4年度決議事項の経過報告に続き、各町村より提出された議題について討議をおこなった。その後、初の試みとして、リニア中央新幹線、三遠南信自動車道の開通により、人と物の流れが大きく変わるうとしているなかで、伊那谷の中心にある4町村が連携を図り、夢ある将来ビジョン及び具体的な連携について4分科会に分かれて活発な討論がおこなわれた。飯田下伊那だけでなく上伊那地域と連携することも重要であることから再確認できた研修会となった。



中部伊那4町村連携強化

飯伊市町村議会議員研修会 開催

阿智村中央公民館 10月31日



どうする人口問題？

飯田下伊那の市町村 対策は政策的に取りあ 議会議員ならびに関係 げにくい特性がある。 者が一堂に会し、共通 人口減が明らかになっ の課題について研修を ても経済偏重の政策が 行った。今回は東京都 採用されている点も問 立大学の山下教授を招 題との指摘であった。 いて「人口減少と地域 地方議会として今取 社会・地方議会」と題 り組むべきは、議会の した講演であった。 転換であり、「こうい う議会が必要」と言わ 人口問題は単純には れる議会を指すべき 制御できない点で環境 であるとの指摘であっ 問題と同一視すべき、 た。 との結論。また人口減

県への陳情結果を全議員で共有

松川町えみりあ 11月14日



陳情結果説明をする中平議長

北部ブロックの全議 員による総会が松川町 議会の当番でおこなわ された。前半は親睦を深 めるため清流苑でマ レットゴルフ大会がお こなわれ、優勝を目指 し大いに盛り上がった。 後半はえみりあに於 いて9月に5町村より 出された県へ陳情など の審査結果が報告され た。14件の要望の内8 件が採択となり、残り の6件は継続審査と なった。

☆ひとくちメモ☆

㊦. 北部ブロックって？

㊦. 「松川町、高森町、豊丘村、喬木村、大鹿村」の下伊那郡北部5町村による協議会。連携して県に陳情します。

宮下前農林水産大臣を表敬訪問

東京都農林水産省 11月15日

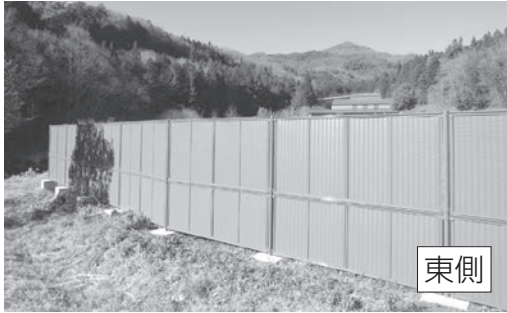


大臣を表敬訪問

議会全員で千代田区 町で働いていた職員と にもある農林水産省を訪 も再会し思い出話に花 が咲く一面も。 翌16日にはNTTの 研究施設を訪問し、5 Gなど最先端の研究施 設、無菌培養による魚 の養殖など様々な施設 を見学した。

令和5年第2回 下伊那北部総合事務組合定例会開催(担当・間瀬重男)

第2回下伊那北部総合事務組合定例会は11月2日、午後1時から全員協議会、3時から定例会が開催され、令和4年度の決算認定、5年度の一般会計、特別会計補正予算の議案が提出され、全て全員賛成で可決された。



東側



完成した火葬場目隠しフェンス 西側

主な審議案件

- (1)令和4年度事業実施報告について
- (2)令和4年度一般会計決算火葬場特別会計決算の認定について
- (3)令和5年度一般会計補正予算第1号及び火葬場特別会計補正予算第1号について

一般会計補正予算額 43万3,000円

火葬場特別会計補正予算額 75万2,000円

- (4)下伊那北部火葬建設に関する協定の一部を変更する協定について
- (5)リニアを見据えた町づくり構想、5年度上半期の進捗状況について
- (6)地域活性化講演会の開催について
- (7)北部火葬場の目隠しフェンスの設置について

審議案件と結果

| | |
|--|----|
| 令和5年度南信州広域連合一般会計補正予算(第2号) | 可決 |
| 令和5年度南信州広域連合飯田広域消防特別会計補正予算(第1号) | 可決 |
| 令和5年度南信州広域連合稲葉クリーンセンターと特別会計補正予算(第1号) | 可決 |
| 令和4年度南信州広域連合一般会計歳入歳出決算認定について | 承認 |
| 令和4年度南信州広域連合南信州広域振興基金特別会計歳入歳出決算認定について | 承認 |
| 令和4年度南信州広域連合飯田広域消防特別会計歳入歳出決算認定について | 承認 |
| 令和4年度南信州広域連合稲葉クリーンセンター特別会計歳入歳出決算認定について | 承認 |

南信州広域連合 議会ニュース (担当: 米山郁子)

令和5年南信州広域連合議会第2回定例会が11月13日(30日)を会期としておこなわれ、議案7件、南信州連合規約の一部を変更する(案)と事務事業進行管理表による事業の二次評価がそれぞれの担当常任員会にて慎重に審議された。

注目!! 文化芸術活動支援は

南信州広域連合事務センター及び旧EMCセンターの施設全体を「南信州広域連合会館」(仮称)とし、新たに文化芸術活動支援施設(公の施設)を追加することになった。

施設の管理運営は広域連合の事務局総務課が行います。広域連合が運営するには広域連合規約の変更が必要で、広域連合会を構成する14市町村の全ての議会が議決を経るから長野県知事に対して規

約の変更許可申請をおこなう。

南信地域での県直轄の施設が撤去されつつあるなか、長野県駅としてリニア新幹線駅が設置されるが、アリーナなど地域振興をはかる施設の考えが見えていないことに対し、14市町村から長野県知事に「県施設の整備統合が続くなかで、地域の振興に資する施設整備等を求める意見書」を提出していただくこととした。



る会

もっと
耳を
傾けます



女性団体連絡協議

町の魅力づくりと若い女性が働ける場を

女性団体連合会(10人)
10月19日

Q 若者が流出して帰ってこない、町に魅力が無く、活気も無い。もっと若い女性が働ける場が必要ではないか。
A 女性の就職相談会も実施し対応はしている。

A 県道22号線は一部着手している。県への要望もしている。

Q 生田地域の空き家を改修し無償貸与など利活用すべき。
A 空き家バンクの動きは少ない、活性化を要望する。

Q 女性議員をもっと増やすべき。
A 女性模擬議会をするなど議会に興味をもってもらうように努める。

Q 女性模範議会をするなど議会に興味をもってもらうように努める。

Q 女性模範議会をするなど議会に興味をもってもらうように努める。

どう生かす チョイソコの工夫は

古町区会(14人)
10月20日

Q チョイソコは不評である。問題点を追及し改善できないか。
A 利用率が伸び悩んでいる。課題解決に向けた取り組みを要望する。

Q ちよっと乗って500円は高すぎる。なんとかならないか。
A 地域の声を吸い上げ、提言をする。

Q 前河原道路の建設は計画通りに進めてほしいが。
A 遂行できるように注視する。

Q ハローミヤの跡地の今後は。
A 起債の繰り上げ償還が必要で、今後については提示されていない。

Q ハローミヤの跡地の今後は。
A 起債の繰り上げ償還が必要で、今後については提示されていない。



上大島地区

果樹盗難被害対策に 防犯カメラ補助を

上大島区会(21人)
10月23日

Q 果樹盗難被害対策として防犯カメラ設置補助金を昨年から要望しているが状況は。
A 商店街からも要望があり、昨年行政に下げた。

Q バスやタクシーを利用できない一人暮らしの高齢者の方が出か

けることができるような対応が必要では。

A 対応する課や担当部署が異なることも一つの原因となつている。改善するように要望する。

Q 県道飯島飯田線、御鋤原線、弥田沢線など計画はあるが早期決定と明示はできないか。
A 御鋤原線、弥田沢線は着手している。県への要望は続けている。

Q 御鋤原線、弥田沢線は着手している。県への要望は続けている。

Q 通年議会制を取り入れるという話のその後は。
A 視察など実施し、調査研究をしたがメリットが見つからず、今期は行わない。

Q 通年議会制を取り入れるという話のその後は。
A 視察など実施し、調査研究をしたがメリットが見つからず、今期は行わない。



Q 生田地域の道路整備は進めているか。

A 新農業法人での対応も検討。

Q 受粉用の花粉は中国産を使用していたが輸入中止となった。国産花粉の安定供給を。

A 新農業法人での対応も検討。

Q 受粉用の花粉は中国産を使用していたが輸入中止となった。国産花粉の安定供給を。

A 新農業法人での対応も検討。



古町地区

町政に 反映

議会と語る

未満児退園への 対応は

上新井区会(28人)
10月27日

Q 2人目の育休中は未満児の上の子は退園させられてしまう。対応できないか。

A 6月議会で請願が提出され採択されている。慢性的に保育士が足りない状況である。

Q 保育士不足は職場環境に問題があるのではないか。

A 現状を分析し課題発見に向け要望する。

Q 英語教育は保育園から高校まで一貫した到達目標が必要で、それに沿ったカリキュラムでおこなうべきと思うが。

A 学習指導要領に沿って実施されている。意見は町へ繋げていく。少子高齢化への対

応を、特に少子化の問題に対しての政策を進めて欲しいが。

A 全国的な問題であり、議会としても研究し提案する。

Q 新井南部にソーラーパネルが設置される。地域住民として不安があるが規制はできないのか。

A ガイドラインがある。確認して町へ伝える。



上新井地区

元気センターの 今後は

上片桐区会(17人)
10月28日

Q 元気センターの今後は。

A 地域共生コーディネーターを採用し、福祉のあるべき姿を模索中である。

Q ハローミヤ買取で大金が費やされた。議会の責任は。

A その時々々の首長による提案を審議している。

Q 破産管財人であり町の顧問弁護士でもある人物を仲介しハローミヤを購入している。違法性はないのか。

A 違法性については、議会が判断する立場にない。



上片桐地区

議会と語る会では、出されたご意見・質問は集約し12月21日に町側に提出。1月末までに回答するように求めている。

議員定数・報酬についての意見は

●定数 14

●議員報酬金額 (円)

| 議長 | 副議長 | 委員長 | 議員 |
|---------|---------|---------|---------|
| 269,800 | 209,000 | 195,700 | 190,000 |

●定数に関して町民の意見が反映されていないと感じる。自分の周りでは現在の14人からは現在の12人から12人に減でも良いとの意見もある。

●定数は議会で決めればよい。

●議員報酬について、生活ができるくらい上げた方がよい。

(特集)

取り組み進む…男女共同参画事業

今年度も、松川町では多くの「男女共同参画」に関する事業が行われています。


- ・20歳の集いでは、啓発資料の配布
- ・男女共同参画週間では、町独自の横断幕を作成掲示
- ・11月13日～25日は「女性への暴力をなくす週間」

期間中は中央公民館
玄関を、パープルライト
アップ…など。

20歳の集いに出席の皆さんへ
松川町 生涯学習課からのメッセージ

本日は、おめでとうございます。
松川町は、男性、女性などの性別にかかわらず誰もが活躍できる社会を目指しています。ところで、なぜ、「誰もが活躍できる社会」を目指しているのでしょうか。世の中は、まだまだ、「誰もが活躍できる社会になっていない」からです。これからの日本や松川町の将来を担い、社会を作っていくのは今日の皆さん一人一人です。

誰もが活躍できる社会、ひとりひとりが
幸せな社会の実現のために、あなたに
できることを牽引していきましょう。
そして、笑顔あふれる 故郷・松川町
を盛り上げてください!



知っておきたい男女共同参画 日本の課題 (内閣府 資料を参考に作成)

✓【日本のジェンダーギャップ指数】
世界の中の日本の現実を知ろう!


| | |
|-----|------------|
| 順位 | 世界 153 개국中 |
| スコア | 74.1% |
| スコア | 第 121 位 |

✓【男女共同参画社会に関する意識】
自分から役割意識を覚えよう!

社会全体で見た場合、男女の地位について、74.1%が「男性の力が優越されている」と答えている。「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」と考える人の割合が多い。

✓【ワークライフバランス】
お互いに育児に責任をもちよう!

男性の長時間労働が依然高水準。子育て期にある男性の家事・育児時間は少ない。




横断幕でアピール



えみりあ玄関が、紫色に

考えてね、皆さん

ジェンダーギャップ (男女格差)

日本は世界で121位!

2022年の統計では、日本のジェンダーギャップ解消度は、世界総合121位と、先進国とは思えないほど、低いものです。

とりわけ、政治経済の分野では139位で発展途上国以下という低さです。

女性議員が少ないと、女性の気持ちや実情に沿った政策提案が出にくい傾向があります。

社会的、文化的に

作られた男女格差!

従来は男が働き、女は家で家事子育ての観念、女性は口出しをするなどという風潮、出産、子育てのため働けない女性の経済力の無さが、立場をいっそう弱めてきました。

近年、男性の育児参加、家事分担の必要性がいわれ、男性の育休制度などが進みつつありますが、障壁もあり、とりわけ民間では取得しづらい状況にあります。

女性はお茶くみ、補助的な仕事か!

男性と女性がいた場合、女性がお茶を入れるのが当たり前、仕事は男性の補助、意思決定の場に女性が参加できないなど、まだまだ女性が隅に追いやられています。

※「女性活躍推進法」の施行により、都会の大手企業では女性が活躍できる環境に改善が図られつつある一方、小規模企業の多い地方ではなかなか進まない実情があります。

都会へ去る女性たち!

都会の大学を出た女性などが、「地方には女性が活躍できる仕事が少ない、田舎の古い風習を嫌う、幸せと感じるライフスタイルを見い出したい」などの理由で、一度離れた田舎の町へ女性が戻らない現象が全国で起きています。

若い女性が魅力と感じる職場の確保、保守的な家族観や強固なジェンダーギャップの解消などが、解決の糸口ではないでしょうか。

※女性活躍推進法 | 2016年4月施行

町の考えを問う!

一般質問

1. 米山義盛 (16ページ)

- ・町内の河川水質検査の結果から見えること
- ・「ゼロカーボン社会」への町の取り組み

2. 川瀬八十治 (17ページ)

- ・少子化に対して町の施策は

3. 松井悦子 (18ページ)

- ・どうする、高齢者福祉、障がい者福祉

4. 星野光洋 (19ページ)

- ・生東グラウンドにある体育館「リズム室」のこれからについて問う

5. 米山郁子 (20ページ)

- ・入札業務の標準化と改革は進んでいるか

6. 塩沢貴浩 (21ページ)

- ・地方都市の活性化に向けて

7. 間瀬重男 (22ページ)

- ・町長の政治姿勢を問う

8. 加賀田亮 (23ページ)

- ・自治会や区に対する町の認識を問う

一般質問は議員にとって、住民から重大な関心と期待を持たれる大事な議員活動です。町政全般にわたって執行機関に疑問点を質し、所信の表明を求め、議員自らの政策提言を行い、政治姿勢を明らかにするものです。

質問の持ち時間はひとり20分ですがスペースの都合上、質問者の責任において質問と答弁を要約して掲載しています。本会議での傍聴をお待ちしております。

お知らせ



ユー・チューブで 議会活動配信!

松川町議会の定例会・臨時会・全員協議会・各常任委員会・一般質問の様子が配信され、ユー・チューブで見ることができます。「松川町議会チャンネル」で検索してください。

チャンネル・ユーでも議会活動配信!

松川町議会の上記の活動は、チャンネル・ユーでも視聴できます。本会議と一般質問は、当日の生中継により見られます。全員協議会・常任委員会、翌日配信されます。

議会コーナー:進むタブレット活用!

庁内のDX化の進展の中で、タブレットが導入され、議会内でも活用研修がおこなわれています。本年より議案書資料のペーパーレス化による、審議が行われます。



今月の表紙

「地域おこし協力隊員」として松川へ来られて3年の正木幹朗さん。「くだもの里100年」をさらに未来へつなげる果樹農家新規就農へ向けて、果樹栽培技術の習得に精力的に取り組んでいます。

議会だよりがアプリで見れる



マチを好きになるアプリ



Androidの方はこちら

QRコードからもダウンロードできます

問

町内の河川水質検査の結果から見えること

答

50年来継続の水質検査を今後も



米山義盛 議員

1975年からの公民館青年学級による町内の河川水質検査が、今も継続している。この間には公共下水道整備や合併浄化槽の設置が進みその成果も確認できるが、大腸菌など人為的な汚染物の垂れ流しと思われる結果が出ている。そうした状況を今後どのように改善していくのか。

また、「ゼロカーボン社会」へ向けた町の取り組みが始められつつあるが、ゼロカーボン社会の実現のためには、実情調査と並行して、町内の事業所や住民との連携・意識啓発が求められる。

いっぱん質問

(問) 10月20日付南信州新聞記事を紹介したが、1975年から青年学級が河川の水質検査を取り組み、要望書を町に出している。この取り組みについて町長の考えは。

(町長) 50年に渡りこのような活動がされているのは全国でも非常に稀で、そのなかで下水道の整備で、水質が格段に改善された。下水道の加入率を高め、また汚水などが出ている可能性にも注視し、取り組みを町としても支援していきたい。

(問) 担当されてきてくれた公民館・生涯学習課に、この検査の具体的な方法、水質検査箇所、経過の説明を。

(生涯学習課長) 昭和40年に公民館のなかで青年学級を開設してさ

まざまな学習を進め、その一つに水質調査があり、町内の河川7ヶ所の水を採取して、専門機関に送り調べてきた。全体としてはこの青年学級の取り組みや下水道整備などにより推進の改善や維持が図られている。大腸菌の高い数値が出たりすることもあり、継続的な調査の必要性を感じている。

(問) 水質検査の結果は住民税務課の環境担当とのデータの共有なども行われているとのことだが、大腸菌など汚染物が検出された場合には、どのような対応をとってこられたのか。

(住民税務課長) 水質検査の結果をもとに、毎年講師の先生を招いて考察会議を行っている。大腸菌やBODな

どの数値の高い地点には、現地調査や、定期的な水質検査も行い原因究明に努めている。

(問) 水質検査に関連して公共下水道整備の経過、現状、今後の課題は何か。

(建設水道課長) 平成元年度に松川町下水道計画基本構想を策定し、平成4年度から公共下水道事業を平成5年度から農業集落排水事業の整備に取り組

み、平成16年度までに下水道整備は完了している。下水道処理区以外の地区については、平成元年度から合併浄化槽を設置整備事業により、生活排水の処理を行っている。その補助金も出している。

(意見) 「ゼロカーボン社会」へ向け、今後実態調査を進めながら、住民と事業者を含めたの関心を喚起し、取り組むべきである。



夏場は悪臭を放つ水路



川瀬八十治 議員

問 少子化に対して、町の施策は

答 財源の確保を行い魅力あるまちづくりに取り組む

子育て支援策の第一弾として、保小中の給食費の無償化が10月から実施となった。

県内首長アンケート(新聞報道)によれば、松川町長は「効果はまだはっきりしないが手ごたえを感じている施策がある」とのことであった。他にどのような施策があるのかを聞き、今後に期待をしたい。

(質問) 子育て支援政策において、どのような施策があるか。

(町長) 有機給食の継続や、移住定住に向けた子育て世代の仕事づくり相談事業の取り組みを行う。

(質問) 企業誘致のために、用地の確保はできているか。また、片桐松川沿いの検討は。

(産業観光課長) 用地の確保は現在できていない。プロジェクトを立ち上げて産業団地エリアの計画を練り上げている。片桐松川沿線エリアについても検討をしている。

(質問) 長い間手つかずの状態にある、上片桐専用側線の利活用の考えは。

(まちづくり政策課長) 平成24年に跡地利用のアンケート調査を行い、跡利用検討委員会を立ち上げて検討してきた。平成28年に上片桐区会から、更地の

まま継続という要望書が提出され現在に至っている。今後は、地域の皆さんの希望を聞きながら、活性化に繋がる施策を一緒に考えて行く。



早期活用に期待、上片桐専用側線跡地

(質問) 「保小中一貫教育の推進」について、どのように進めていくのか。

(教育長) 保小中一貫教育の推進に向け、昨年度からリーダーとして1人の教員配置となった。教育関係のそれぞれの委員会でも、連携を強化しながら町全体で進めていく。

(質問) 停滞していた行政を、スピード感を持って進めて行くことについての考えは。

(町長) 少子化対策は一番の課題である。大きく変化をしている今日において、松川町が止まることなく未来志向で前へ進めるように、一歩一歩議会と共にオール松川で作りに上げていきたい。

問 (仮)元気センター、なぜ撤回か

答 総合的、客観的に判断した



松井悦子 議員

ハローミヤ跡地の買収から、検討委員会、建設委員会、議会の合意形成を経た「(仮)元気センター」建設計画を、いとも簡単に白紙に戻し、城山の「旧老人福祉センター」を改修して使うという暴挙を進めようとしている町長に質問した。

いっぱん質問

(問) 報告書に、納税者と非納税者を差別する表現が目立つが訂正すべきでは。

(町長) 検証チームの資料で使っている言葉であり、訂正するつもりはない。

(問) (仮)元気センター建設に疑問の声が多数聞いたというが、賛成意見も多数あったはず、都合の良い解釈過ぎないか。

(町長) 公約であり、検証チームを立ち上げて再検証を行い、総合的、客観的に判断をした。

(問) 地域福祉協議会、検討委員会、建設委員会、議会と長い時間と人的、金銭的経費を費やして合意形成を行ってきた「(仮)元気センター建設計画」を無駄にするのか。大きな行

政のロスを生じさせることになる。行政の継続性が重要ではないか。建設委員会や委託事業者の意見も聞かず、決定後に通達したが、委託事業者は計画どうりハローミヤ跡地の建設を望むと要望された。また知的障がい者保護者団体からもハローミヤ跡地建設の要望書が出されているにもかかわらず、建設反対の陳情書だけを重視している、差別ではないか。

(町長) 建設の是非を決定するのは委員会ではない。早期建設の要望もあったが、建設反対の陳情有あり判断した。

(問) 何か新しい物を建設しようとするればお金が要することは当然だ。高齢者や障がい者の施設にはお金を使いたくないということなのか。

(町長) 建設費は当初の予算より大きな金額の差が出てしまった。その点を町民に理解してもらおうのが難しかった。

(問) 改修して使うという「旧老人福祉センター」は50年以上前にお風呂など備えたお年寄りの「憩いの家」として建てられた。コミュニティカフェ開設に当たり、空いていたので利用したに過ぎず、人里離れており福祉施設には不向きな場所だ。お年寄りには「姥捨て山」

だと言っておられる。心が痛まないか。

(町長) 悪い所などという考えはない。

(問) 長らく障がい者施設「地域活動支援センターあすなろ」の運営を受託されてきた「親愛の里」が、この間の町の手法に怒り嘆き、令和5年限りで手を引くと表明された。利用者にとって大きな打撃になる。どうするつもりか。

(町長) 公募をする。



姥捨山か、旧老人福祉センター



星野光洋 議員

問 「リズム室」解体からの方向転換は

答 使用する方向で検討をしている

生東地区にある体育館「リズム室」は解体の方向で話が進み、令和4年度には入札が行われているが、その後の動きが見受けられない。耐震補強が行われていないため現在は使用ができないが立派で丈夫な建物である。地区の行事の要、加えて避難所としての使用も考えられる。これからについて質問した。

いっばん質問

(問) 解体という決定に至った経緯を知りたい。

(町長) 平成29年に生東地区の町政懇談会にて存続を要望するという声をいただいていたが、解体の方向で区会とも話がついていた。しかし一旦立ち止まって活用方法がないのか、避難所としての利用が可能なのかを検討していきたい。

(保健福祉課長) 将来の人口減少を鑑みて公共施設の管理、統合、廃止を検討する松川町公共施設などの総合管理計画において、利用が少なくなっていたリズム室の解体が決定した。しかし町長の就任以降、解体についての予算計上はしない方針である。

(問) 解体にかかる費用、反対に存続する場合

合にかかる費用は。

(保健福祉課長) 解体については今年度の価格で1,800万円。存続にかかる費用は、耐震診断設計・耐震工事・老朽化している部分のリニューアル工事に加え、トイレが無いのでその新設工事が考えられ、全体で6,000万円ほどかかる見通しだ。

(問) 地区のみなさんの声にもあった避難所として活用する考えはあるか。

(総務課長) 現在、生東地区では指定避難所としてリズム室隣にある生東会館がある。旧東小学校も活用し、今ある施設でという方針。

(問) 避難所以外にリズム室を活用していくアイデアはあるか。



リズム室全景



入口から入ると

道路側倉庫

現在のリズム室。解体はもったいない！

(町長) 財源を確保する問題がある。生東の皆様とも相談し、避難所という方向も踏まえ町の財産、町づくりという面で検討していく。

(意見) 避難所として使用するには生東会館は狭いように感じる。この地区の高齢化・人口減少という問題も確かにあるが、リズム室や旧東小学校をもっと活用し、賑わいや新たな可能性を見出していくのは松川町の今後を考えると考える。町としてもその後押しをしていくべき。

加えて電気・水道も通していないため現在は使用できない状態である。

問

入札業務の標準化と改革は進んだか

答 要綱整備など進めている



米山郁子 議員

入札から契約にかけての業務は町が支出行為をおこなうに当たって非常に重要な業務である。特に随意見積入札は価格の高止まりや特定の業者に偏りがちになる弊害を生みやすい。エアコン設置工事に於ける訴訟問題が終結となったが、入札業務の課題は何か、改革はされているかを質した。

いっぱん質問

(問) 平成30年のエアコン設置工事に於ける入札に対しての訴訟が和解になり終結された。町側は相手側の条件を全て受け入れるとしたが対応は。

和解条件① 公正取引委員会の調査に積極的に協力するとは。

(町長) 公正取引委員会に通報しており、依頼があれば積極的に協力することに変わりは無いが現在まで連絡がない。

和解条件② 見積額と町の設計額、予定価格が同類となる取り扱いは継続徹底するとは。

(町長) 建築工事設計額の設定は、町独自で基準を設けている。運用方法は、設計額の漏洩に繋がる恐れがあるので答弁は控える。

和解条件③ 入札情報が外部に漏洩しないように財務規則を遵守し適正に管理するとは。

(町長) データ格納者と別の担当者の2人以上で確認し適正に処理されている。新たに起工何にチェック欄を設けた。予定価格調書は予算執行者が封をし、糊付けをし、入札時までは開封できないようになっている。適正に管理できていると考えられている。

(問) 予定価格と落札率に開きがありすぎるが理由は。
① 59.5%や69.7%の事例がある。どのように算出しているのか。

(総務課長) 最低制限価格を設けていない場合に落札率70%を下回ることがあるが問題ないと考えている。

② 落札率100%が令和4年では5件あった。結果についての検証は。

(総務課長) 地域の実情や品質を勘案して設計の市場調査ができているので100%もありえる範疇である。

(問) 随意見積入札は価格の高止まりや特定業者に偏る弊害がある。事業の目的や性質にそった選定判断はどうか。

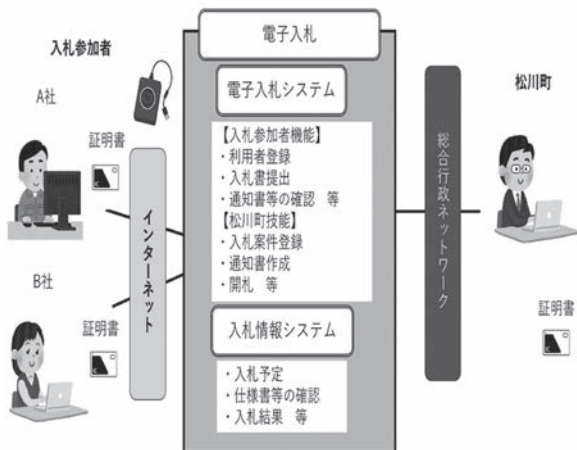
(意見) 事業者へは丁寧な説明と対応を。

(総務課長) 令和6年度中の導入を目標に事務を進めている。

(問) 電子入札サービス導入は考えているか。

(総務課長) 随意契約ガイドラインに沿って起案し町長が決裁で認め、業者選定委員会において判定を受ける。

電子入札のしくみイメージ





塩沢貴浩 議員

問 地方都市の活性化のためにできることは

答 多様な交付金をバランスよく使っていく

岸田内閣は「デジタル田園都市国家構想」を政策のひとつとして掲げている。コロナ禍も収束し、今後は地方創生臨時交付金も形を変えていくと思われる。有利な税制、交付金は積極的に使っていきたい。町の現状と今後の見通しを聞く。

いっばん質問

(問) 企業が地方に事務所を移転する際に使えるオフィス減税、雇用促進税制がある。企業誘致に関して町の取り組みは。

(町長) 今年度は新井商店街の空き店舗を活用する企業誘致、リノベーション、空き店舗を活用したサテライトオフィスの3つのソフト事業を展開。小さなベンチャー企業に来てもらうことも必要と考える。町内業種の多様化を図り、UIJターンの繋げていきたい。企業団地に関しては庁舎内にプロジェクトチームを立ち上げた。

(問) 町の企業誘致には他町村との差別化も重要と考える。松川町としての強みはどこにあるか。

(産業観光課長) リニア、三遠南信自動車道の開通を含め、巨大都市圏に含まれていく点、また精密加工、電子航空技術の集積の関係から関連企業の誘致に強みになっていくと考える。アルプスの田園風景、空気や水や果物の美味しさを含め長野県は移住したい県全国1位となっている。当町は山保育、森林セラピー、温泉など恵まれた環境も整っていると考える。

(産業観光課長) 年間2〜3件の問合せがある。用地の問題を含め実現には至っていない。

(問) 地方創生臨時交付金は課を横断して使える使いやすい交付金だが、現在当町においてこの交付金を利用して取組んでいる事業は。

(まちづくり政策課長) 地方創生のリブランディング支援による販売促進、空き店舗活用拠点を検討している。青年の家、清流苑エリアに地域資源を活かした体験型コンテンツ導入による関係人口創出の加速。ギガスクール構想の実現に向け、一人ひとりに最適化された学習や学力の向上を図る事業を行っている。

(問) 町の活性化には外からの活力と町内からの活力が大事になってくる。優先順位は考えているか。

(まちづくり政策課長) 安定した事業を多くの課と連携し、交付金の使用を調整するのが役割と考える。なるべく町内で広く活用できるように進めていきたい。



ベンチャー企業の誘致で町の活性化を

問

(仮)元気センター建設撤回の政治姿勢を問う

答

ハローミヤ跡地建設撤回の理由は総合的判断



間瀬重男 議員

議員になって以来、町長交代による2つの衝撃である。1つは宮下町政で旧青年の家解体の方針、2つ目は9月定例会において北沢町政による建設目前まで進んできたハローミヤ跡地に建設予定の(仮)元気センターの建設撤回の方針変更である。青年の家においては議論の上改修活用で安堵したが元気センターは利用者、事業者、町民、議会などのきちんとした理解のないままの、(旧)老人福祉センター改修活用案に至る政治姿勢を問う。

いっぱん質問

(問) 福祉行政は継続が原則である。なぜ元気センターの建設を方針変更し撤回したのか。

(町長) この立場になるにあたり検証を公約にしてきた。客観的、総合的に見てどの判断が正しいのか検討してきた。町が跡地を利用して建設してきたことにより現在の地は使えないとした。また、地域共生社会を目指している部分について検討がされていない。建設費も含め総合的に判断し跡地には建設しないこととした。

(問) 事業者、多くの町民は到底理解していないと思うが町長は理解されているか。

(町長) 客観的、総合的判断という理由では、きちんとした撤回理由として受け止められなかった建設を撤回し、(旧)老人福祉センターを改修活用は利用者として

(町長) この立場になるにあたり検証を公約にしてきた。客観的、総合的に見てどの判断が正しいのか検討してきた。町が跡地を利用して建設してきたことにより現在の地は使えないとした。また、地域共生社会を目指している部分について検討がされていない。建設費も含め総合的に判断し跡地には建設しないこととした。

(町長) このことについてはこちらの意見もあると思う。

(保健福祉課長) 場所は駅から商業地にも近く利便性良い。半面老人福祉センターは自然環境が良いという意見もある。場所の良さの理由で建設しない結論ではない。

(町長) 議会との協議が足りないと思われる点についてはさらに協議ができるような形を相談するなかで進めていきたい。

(問) ということはこのことについて議会をはじめ関係者の声を聴くことが無かったからではないか。なぜ広く聴く場を設けなかったのか。

(町長) この計画は当初から町独自で進めてきた話でスタート地点から利用者町民の意見を反映したものではない。町としてはこの4か月のなかで最大限できる説明はしてきたと思っている。

(町長) 跡地の利用目的は今はない、検討していく段階である。

(問) ハローミヤ跡地は社会的弱者にとつて大変都合の良い場所である。あの場所がどうしてだめなのか。何か他に使う目的があるのか。

(問) 町長の目玉施策として給食費無償化について議会との両輪が働き実現した。しかし元気センター問題をはじめ不信感を持たれるような提案があると感じられる。議会との関係についてどう考えていくのか。



どうなる元気センター建設計画用地



加賀田亮 議員

問 自治会問題に対する行政の対応は

答 緊急の課題であり早急に対応したい

区や自治会といった地域団体の課題は年々表面化し深刻な状況だ。多くの自治会は問題の解決を行政に求めてきたが、これまでの町政は民間団体への不介入を理由にこの問題を避けてきたように見える。4月から町政も新体制になり自治会問題によりやく本腰を入れ始めたようだ。かつて戦時中に行政の上意下達のために始まった自治会。問題の解決にも行政の責任は大きい。

いっぱん質問

(問) 自治会にとって「②委員選出」は大きな負担だ。全委員を公募制にすべきでは。地域バランスを重視するのなら、地域ブロックでの公募を優先すればよい。欠員があれば町全

(町長) 自治会問題は行政から明確な指針を出せと各地から要望を受けている。①行政の役割であると考え、②地域バランスを考慮すると自治会に依頼せざるを得ない③デジタル化の推進によって解消したい。

(問) 自治会問題において、以下の①～③は住民負担が大きく課題となっている。本来行政が主体的に負担すべき業務ではないか。①道路整備や除雪などのインフラ整備の労役②各種会議などへの委員選出③文書などの回覧

体ブロックからの公募者を充てれば良いのでは。また「③回覧文書のデジタル化」に対応できない層の住民に対する対策は。

(町長) 「②委員選出」問題は地域からの不満が大きい緊急課題だ。提案は前向きに検討したい。「③回覧文書」計画で、実際に検討作業に入っている。

(問) CATV未加入者に配慮し、従来通りの紙媒体希望者を調査しては。配布は自治会任せではなく行政が配達員を雇用すべきだ。

(町長) この問題も、地域からの改善要望が大きい緊急課題だととらえている。提案は前向きに検討したい。

(問) 行政が自治会に期待する「共助」について問う。自主防災組織など各地で試行錯誤が行われており自治会問題とも密接だ。実のところ「共助」とは抽象的過ぎて何をすべきなのか不明な点も多い。

一方、デジタル化は印刷・配達コスト削減効果が期待できる。これを受け入れた住民には特典の付与などを行い促進すべきでは。

(町長) 町は防災アドバイザーを設置する。十分な研究を行い、自治会に示すモデルを早急に作り上げたい。

(問) 完璧を目指して「共助」のモデルを作るべきではない。各地で状況は異なるので抽象的なモデルになってしまう。例えば緊急時における「3日分の飲料水の確保」など小さな到達点でよいので自治会に対して「明確で「具体的な」行動指針を示すべきでは。



具体的な「共助」を事前に定義できるのか

(町長) ぜひ精査して積極的に検討したい。自治会問題は緊急課題であると十分すぎるほど認識している。何らかの対応を早急に打ち出すつもりだ。

この町に暮らして

自然と共に、丁寧に豊かに暮らす

(原田) 木下 真理子

6年前に結婚出産で松川町

に住み始め、子育てには自然豊かでとてもいい環境だなと思います。現在5歳の息子がいます。地元の大島神社で七五三のご祈祷をして頂きました。初めての境内で、神聖な異次元へのトリップを体験。我が子の成長をかみ締めると共に、伝統行事や地域交流の大切さ・有難さも感じた七五三となりました。維持管理や運営準備などに改めて深

謝しております。

2021年に「生活クラブ生協 松川支部」を友人達と立ち上げました。近隣では飯田・豊丘支部がありました。松川町には無かったのが、松川町には無かったので不便さを感じ、約1年かけて80人を集めスタート。生活クラブは、安心・安全な食材の購入を中心に、持続可能な社会/再生エネルギー促進、組合員同士の助け合として子どもを預けるシステムなどがあります。子育て世代にはとても重宝されていて、私も何度も助けて頂きました。



11月に松川町初の「風の谷マルシェ vol.15」を私達購入者も運営に携わり市場の森で開催しました。「未来を担う子ども達に、安心・安全な環境や食材を提供したい」そんな想いのもと、伊那谷で人気の飲食・雑貨・農

家さんなど19店舗が出店、沢山の方々が足を運んでくれました。森や広場で、自由に駆け回る子ども達の声が響くなか、地域の方々との温かい交流や、新たな出会いが生まれ有意義なマルシェになりました。主催者として風の谷マルシェに携わることができたのは、なによりもこの地で出来た友人達のお陰です。「自然と共に、丁寧に豊かに暮らす」素敵な方々が沢山おり、新たな発見や刺激を頂きながら子育てライフを満喫中です。

I Have a Dream!

私には夢がある

未来に羽ばたく若者●子どもたち



松川中学校 サッカー部

3年生が引退し、2年生5人、1年生17人で活動しています。中学生からサッカーを始めた人も多いチームですが、基礎的な技術の向上を大切にして、日々の練習に取り組んでいます。サッカーができることに感謝の気持ちを忘れずに、応援して下さる方々に、よい結果を報告できるように頑張っています。

タイトルの「I Have a Dream」は、ノーベル平和賞を受賞したキング牧師の演説の一節。職と自由を求めたこの有名な演説は、公民権運動に大きな影響を与え、未来を切り開いた。

広報部 (編集委員会)

- (部長) 松井悦子
- (副部長) 米山義盛 塩沢貴浩
- (部員) 間瀬重男 米山郁子 星野光洋

あ と が き

物を作るのにはセンスが必要とされています。すなわちセンスがある人とは、ある特定のものに対し、その細部に至るまで「違いを感じ取る」ことができ、それを上手な表現・使いこなすことができることを指すそうです。センスを磨く方法は「なんで?を繰り返す、イメージを形にしてみる、いろんな体験をして引き出しを増やす」そうです。議会だよりのセンスは如何でしょうか。情報・知識・価値観を取り込んで、型破りなアウトプットしてみようかなと思います。

(米山郁子)